

## 1. 住宅棟頭頂部について

バルコニー全面にガラスサッシ面を表出させた高規格な住宅を上層階に設けます。

上層階ガラスサッシ面とファーリングを合わせた頭頂部デザインボリュームの全体的なバランスを考慮し、ファーリングの高さを12.m→6.0mとします。



## 統一感ある群造形と存在感を向上するタワー頂部デザイン

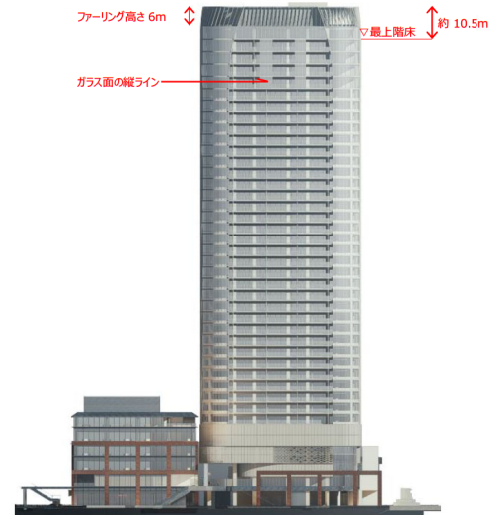
・窄まる形状とした高さ6.0mのファーリングと、バルコニーをなく全周高さ約4.5mのガラスサッシ面とした最上階とを合わせた高さ約10.5mのトップ形状は、隣接するタワーと呼応しながらも、存在感ある頂部デザインを演出し、特徴ある北仲地区の群造形を形成します。

・各面上層部にはガラス面の縦ラインを取り入れ、個性と存在感を向上するデザインとします。

・上層部バルコニー面にガラス面の縦ラインを出すことと合わせ、コーナーのガラス部分も垂面の面とし、頭頂部の形状を整えた形状とします。



ファーリング高さ6.0mとした外観パース



南立面図

(仮称) 北仲通北地区B-1地区計画

2023年6月30日 2

## 2. 事務所棟れんがフレームについて、 3. 高層棟基壇部について

周辺建物れんが調仕上面の平面方向位置関係も考慮し、事務所棟れんがフレーム位置を建物に寄せた位置とします。

・街のれんが仕上面が高さ方向と水平方向に変化するシークエンシャルな街並みを形成し、新旧の街並みの結節点に相応しい景観を創り出します。



前田基壇部南面イメージパース



今田基壇部南面イメージパース

## 街並みの連続性と統一感を向上するデザイン

・公園を挟んで事務所棟に隣接するノートルダム横浜みなとみらいのれんががタイル仕上面に合せ、事務所棟のれんがフレームを建物外壁面に付けた位置とすることで、隣接する建物とのファサードデザインの関係性を高め、既に開発済みであるA-3、B-2、B-3各地区との街並みの連続性と統一感を向上します。

・れんがのフレームが、高さ方向と水平方向に変化することで、シークエンシャルな街並みを形成し、新旧の街並みの結節点に相応しい景観を創り出します。

・街並みを形成するエレメントとなる免震層以下のタワー外壁は、歴史性を連想させるれんがをモチーフとしたパターン（マテリアル）を採用することに加え、出入りある外壁面位置とすることで陰影を生み出し、マテリアルの違いだけでなく、壁面位置の変化でボリューム分節を図ります。

(仮称) 北仲通北地区B-1地区計画

2023年6月30日 3



## 2. 事務所棟れんがフレームについて《 南西側 》

周辺建物れんが調仕上面の平面方向位置関係も考慮し、事務所棟の南北面れんがフレーム位置を建物に寄せた位置とします(A)。

- ・建物内部やコーナー部2階テラスの賑わいが表出し、より立体的な賑わいの連続性を創り出します。
- ・足元空間が広がることで北仲通第二公園と水際線プロムナードへの入口が広がり、水際線ネットワークの人の流れの創出に寄与します。

事務所棟6階西側・南側の外壁面を5階と位置を揃え(B)、6階の北側テラスを広げます(C)。

- ・自動車道やエアキャビンからの立体的な賑わいや緑の空間が感じられ、変化に富んだ北仲通北地区の景観形成に寄与します。

前回提案



今回提案



(仮称) 北仲通北地区B-1地区計画

2023年6月30日 4

## 4. 店舗棟屋上について

店舗棟屋上に住宅共用室を設置します。

- ・事務所棟と同様にれんがフレーム上部にガラス張りの建物を設けることにより、景観の連続性を創り出します。
- ・変化を付けた屋根形状とし、万国橋側からの視認性を高め、より立体的な賑わいが感じられる外観とします。



前回：万国橋からの見入方



今回：万国橋からの見入方

(仮称) 北仲通北地区B-1地区計画

2023年6月30日 6